

石垣山城(石垣山一夜城, 太閤一夜城) (国史跡, 続百名城)

(小田原市早川) (石垣山一夜城歴史公園)

石垣山城（いしがきやまじょう）は、神奈川県小田原市早川にあった陣城跡である。石垣山一夜城または太閤一夜城とも呼ばれている。

概要

豊臣秀吉が1590年（天正18年）の小田原征伐の際に小田原城の西3kmにある笠懸山の山頂に構築した。小田原城から見えないように築き、完成後に周囲の木を伐採したため、北条氏側に一夜にして築城されたかのように見せて驚かせ、戦闘意欲を失わせる効果を果たした、といわれる（一夜城の名もそれに由来する）。

石垣や櫓を備えた本格的な「近世城郭」であり、関東で最初に造られた総石垣の城であった。約3〜4万人を動員し、80日で構築された。秀吉はこの城で茶会を開いたり、天皇の勅使を迎えた。当時、天守があったかは不明であるが、天守台跡はある。関東大震災で石垣に被害を受けたが、井戸曲輪の石垣は地震に耐えて現在もよく残っている。

1959年に国の史跡に指定され、現在は石垣山一夜城歴史公園として整備されている（史跡指定にかかわる内容は「石垣山」参照のこと）。

歴史・沿革

- 1590年（天正18年）小田原征伐の際に陣城として築城。
- 1923年（大正12年）関東大震災で大部分の石垣が崩壊。
- 1959年（昭和34年）「石垣山」として国の史跡に指定される。

現地情報

城跡は前述のとおり石垣山一夜城歴史公園となっている。

- JR東海道本線早川駅からタクシー10分。徒歩の場合、早川駅・箱根登山鉄道入生田駅のいずれからでも数十分かかる。

Wikipediaによる



